



2023年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月13日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <https://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	18,521	24.9	5,427	19.5	5,778	4.7	4,205	10.9
2022年8月期第3四半期	14,830	14.6	4,543	6.4	5,521	19.5	3,790	8.9

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 4,586百万円 (22.2%) 2022年8月期第3四半期 5,895百万円 (46.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	42.71	
2022年8月期第3四半期	38.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	51,579	46,991	91.1
2022年8月期	50,113	45,414	90.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 46,991百万円 2022年8月期 45,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		12.00		18.00	30.00
2023年8月期		14.00			
2023年8月期(予想)				19.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	14.6	7,100	15.2	7,100	5.9	5,000	5.5	50.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	106,973,352 株	2022年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2023年8月期3Q	8,484,468 株	2022年8月期	8,484,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	98,463,075 株	2022年8月期3Q	98,426,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、日本を含め世界の多くの地域で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下、「新型コロナ」という。）と社会経済活動との両立が一段と進み、世界経済の緩やかな景気の持ち直しの動きが見られました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は、いまだに収束の見込みが立たず、原材料・エネルギー価格の高騰が継続し、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げや急激な為替変動の影響等もあり、依然として先行き不透明で注視が必要な状況が続いています。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しています。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めています。当連結会計年度においては、中期経営計画の重点製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」¹の量産体制構築と売上拡大に向けたマーケティング活動の強化、並びに硝子体鑷子「マニーマイクロ鑷子」²の国内販売促進と歯科用修復材³の欧州販売活動を進めています。

中期経営計画の重要施策の観点では、グローバル生産体制の構築を目指してドイツの連結子会社のGDFでは新本社工場を建設しており、2023年8月に完成を予定しているほか、国内ではスマートファクトリーの建設に向けた準備を進めています。さらに、グローバルマーケティングの推進の一環として、2023年6月にマレーシアに新たな販売子会社を設立し、東南アジア諸国向けのマーケティングや売上拡大を目指しています。

今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指します。

(脚注)

¹歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

²網膜剥離や糖尿病増殖性網膜症などの眼球疾患に対する治療法の1つである硝子体手術において、眼底の処置をするための眼科治療機器

³歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、審美性を高める治療（歯冠修復治療、審美歯科治療）に使用される樹脂材料

当第3四半期連結累計期間における経営成績

新型コロナの影響を受けた前年同期と比べ、アジア、欧州、南米を中心とした地域で製品需要が拡大し、特にアイレス針関連製品の需要が大幅に増加しました。また、円安による海外売上高の押し上げも加わったことを背景に、売上高は18,521百万円（前年同期比24.9%増）となりました。一方、海外子会社における製造原価の上昇等により売上原価は7,193百万円（同24.2%増）、本社の人員体制の強化等の影響により販売費及び一般管理費は5,899百万円（同31.3%増）となりましたが、売上高の増加が上記費用増加を大幅に上回ったため、営業利益は5,427百万円（同19.5%増）となりました。他方、主に円安による為替差益の計上等により、経常利益は5,778百万円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加等により4,205百万円（同10.9%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(単位：百万円)

	売上高		セグメント利益（営業利益）	
	百万円	前年同期比	百万円	前年同期比
サージカル関連製品	5,045	15.0%	1,490	△2.7%
アイレス針関連製品	6,451	47.9%	2,046	82.2%
デンタル関連製品	7,023	15.5%	1,890	0.1%
連結	18,521	24.9%	5,427	19.5%

(サージカル関連製品)

サージカル関連製品の売上高は5,045百万円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益は1,490百万円（同2.7%減）となりました。白内障手術で使用される眼科ナイフの需要がアジア及び欧州等の地域で拡大したことにより、前年同期から増収となった一方、製造関連の費用が増加し、売上原価が前年同期より悪化したこと等により、セグメント利益は減益となりました。

(アイレス針関連製品)

アイレス針関連製品の売上高は6,451百万円（前年同期比47.9%増）、セグメント利益は2,046百万円（同82.2%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注がアジア、北米、欧州並びに南米などの地域で引き続き増加したことにより、大幅な増収増益となりました。

(デンタル関連製品)

デンタル関連製品の売上高は7,023百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益は1,890百万円（同0.1%増）となりました。歯科修復材をはじめとしたGDF製品が欧米地域で好調だったことに加え、中国やインドを中心としたアジア地域において歯科用根管治療機器（リーマ・ファイル類）及び歯科用回転切削機器（ダイヤモンド）の販売が堅調に推移しました。さらに、円安による収益の押し上げの影響により、売上高は前年同期から増収となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費の増加があったものの、前年同期と比べ微増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計期間末 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年5月31日)	増減額
総資産	50,113	51,579	1,465
流動資産	32,503	32,528	25
固定資産	17,610	19,051	1,440
負債	4,698	4,587	△111
純資産	45,414	46,991	1,577

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計期間末に比べ1,465百万円増加し、51,579百万円となりました。これは主に、固定資産1,440百万円の増加（主にGDFの設備投資等に伴う建設仮勘定の増加）によるものです。

負債合計は、前連結会計期間末に比べ111百万円減少し、4,587百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び未払金の支払いに伴い、流動負債が151百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計期間末に比べ1,577百万円増加し、46,991百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したこと、及び円安により在外子会社に係る為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2022年10月11日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,729	23,647
受取手形	206	271
売掛金	1,946	2,162
商品及び製品	778	642
仕掛品	3,639	3,143
原材料及び貯蔵品	2,062	2,168
その他	1,152	504
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	32,503	32,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,475	4,324
機械装置及び運搬具(純額)	4,932	4,311
土地	4,353	4,391
その他(純額)	1,725	3,742
有形固定資産合計	15,486	16,770
無形固定資産		
ソフトウェア	84	79
その他	949	1,017
無形固定資産合計	1,034	1,096
投資その他の資産		
投資有価証券	342	330
繰延税金資産	547	551
保険積立金	175	176
その他	23	125
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	1,089	1,183
固定資産合計	17,610	19,051
資産合計	50,113	51,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	111	172
未払金	934	564
リース債務	87	52
未払法人税等	1,148	666
賞与引当金	639	652
その他	861	1,524
流動負債合計	3,784	3,632
固定負債		
リース債務	30	14
役員退職慰労引当金	59	—
退職給付に係る負債	589	638
資産除去債務	201	210
その他	34	91
固定負債合計	914	955
負債合計	4,698	4,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	1,059
資本剰余金	1,036	1,106
利益剰余金	42,678	43,733
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	41,578	42,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	14
為替換算調整勘定	3,845	4,226
退職給付に係る調整累計額	△30	△23
その他の包括利益累計額合計	3,836	4,217
純資産合計	45,414	46,991
負債純資産合計	50,113	51,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	14,830	18,521
売上原価	5,793	7,193
売上総利益	9,036	11,327
販売費及び一般管理費	4,493	5,899
営業利益	4,543	5,427
営業外収益		
受取利息	82	113
投資事業組合運用益	9	1
為替差益	886	233
その他	40	42
営業外収益合計	1,019	392
営業外費用		
支払利息	1	2
シンジケートローン手数料	2	2
外国付加価値税等	6	—
未稼働用地関連費用	26	30
その他	4	5
営業外費用合計	41	41
経常利益	5,521	5,778
特別利益		
保険解約返戻金	5	—
固定資産売却益	4	4
受取賠償金	—	60
受取保険金	1	—
特別利益合計	11	65
特別損失		
固定資産除却損	4	34
減損損失	20	—
役員退職慰労金	33	—
火災損失	2	—
訴訟関連費用	—	0
特別損失合計	59	34
税金等調整前四半期純利益	5,473	5,808
法人税、住民税及び事業税	1,576	1,607
法人税等調整額	105	△4
法人税等合計	1,682	1,603
四半期純利益	3,790	4,205
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,790	4,205

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	3,790	4,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△7
為替換算調整勘定	2,113	380
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	2,104	381
四半期包括利益	5,895	4,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,895	4,586

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	4,388	4,362	6,079	14,830	—	14,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	—	2	△2	—
計	4,388	4,365	6,079	14,832	△2	14,830
セグメント利益	1,531	1,123	1,888	4,543	—	4,543

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	5,045	6,451	7,023	18,521	—	18,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	5,045	6,452	7,023	18,522	△1	18,521
セグメント利益	1,490	2,046	1,890	5,427	—	5,427

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。